

1年生 <生活科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・ほとんどの児童が、活動や観察を通して、感じたことや考えたことを絵や文章で表現できる。
- ・自然の中で遊んだ経験について、個人差は大きいですが、多くの児童が季節の変化を感じ取りながら校外生活等に取り組んでいる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・夏遊びの活動では、多くの児童が約束を守り、他クラスの友達とも仲良く関わろうとしていた。
- ・気持ちのよい挨拶や言葉遣い、学校生活・遊びのルールやマナーを守るなど、生活上必要な習慣を身に付けられない児童の姿が見受けられたが、正しい行動をしている友達を見ながら、少しずつ改善している。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・先生、友達、上級生など学校でかかわる人々に、強い関心をもつ児童が多い。
- ・アサガオの水やりを欠かさずに続け、成長に伴って変化していく様子を楽しみにしながら、親しみをもって世話をする姿が見られた。

重点課題

<知識及び技能>

- ・植物や生き物を詳しく観察する力や、それを表現する力を付ける。
- ・人や社会及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して、どのように取り組んでいけばいいのか児童一人一人に考えさせ、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。

<思考力・判断力・表現力等>

- ・「自然を大切にしよう」「自分たちの遊びや生活を工夫しよう」など、体験したことから自分自身や生活に役立てるようにする。
- ・身近な人々や自然に関する気付きをもつこと、それらを通して自分自身の成長に気付いたり自分の可能性に気付いたりし、生活することへの意欲や自信をもつ。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・身近な人々や自然・社会とのかかわりに関心をもち、主体的に活動できるようにする。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・児童の実態に即した活動を実現し、学習対象にじっくりかかわることができるようにする。
- ・試行錯誤を繰り返す活動を設定し、活動の時間を確保することで、注意深く観察したり、考えたり、意見を交流したりすることができるようにする。

<思考力・判断力・表現力等>

- ・多くの手順を必要としたり、一つ一つの指示がなければできないような活動をしたりすることを避け、主体的な活動、思考、表現ができるようにする。
- ・表現させる際、これまでの体験とつなげた表現、感覚を生かせるような働きかけや言葉かけをする。
- ・体験したことからの気付きを伝え合う場を設定し、互いの気付きを知ることで、個々の気付きの質を高めていくようにする。
- ・昔遊びなど、友達と競い合ったり、教え合い、助け合ったりしてかかわり合いながら進める活動を取り入れる。
- ・一人一人の思いや願いが生かせるよう、児童が感じたことを取り上げながら授業展開をしていく。
- ・活動したことや体験したことを絵や文章(言葉)で振り返らせ、気付きを明確にさせる。
- ・児童の気付きを大切に、個々の気付きを全体で交流することで、活動を深めたり、広げたりする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・身近な人々と関わる活動を通して、親しみや知的な好奇心・探求心を覚え、驚いたり喜んだりできる活動を繰り返し取り入れる。
- ・草花や樹木、生き物と直接触れ合い、身近な自然に目を向ける活動を取り入れる。

2年生 <生活科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・観察などの学習を通して様々なことに気付き、発言などの交流や発見が活発に行われている。
- ・野菜作りでは、生長を楽しみ、収穫を喜びながら観察をすることができる。
- ・「学校のみみつをしようかいしよう」では、学校の各施設の役割について考え、様々な人が児童の学校生活をよりよくしてくれていることを理解している。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・野菜の観察の学習では、気付いたことや自分なりに考察したことをカードにまとめることができる。
- ・学校紹介では、質問内容を考え、学校内の各施設の担当者にインタビューしたことをまとめ、スクラッチや他の方法で表し、工夫して1年生に紹介することができる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・野菜作りを通し、興味関心をもって植物の生長の変化に気付く。またクロームブックで写真を撮り、スクールタクトに記録したり、収穫した野菜を使って、家庭で料理したりすることができる。
- ・学校の施設に対して、自ら興味をもったり調べたりし、その特徴や目的に気付くことができる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・自分と身近な人々、社会や自然との関わりに興味をもてるように関心・意欲を継続させる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・体験を通して気付いたことを分かりやすくスクラッチや絵や文で表現したり、友達の気付きを聞いて自分の気付きを深めたりできるようにすることが課題である。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・積極的に活動はしているが、気付きについては質・量ともに十分ではない。
- ・学校図書館で書物を使った調べ学習やインターネットを活用して、発展させて調べたいという意欲が十分ではない。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・探検や野菜の観察などの体験学習を多く設定し、気付きや、関わりを大切にす。
また、調べ学習の機会を多くし、学校図書館やタブレットパソコンの活用を増やす。
- ・授業の中で小グループの話し合いを取り入れる。友だちと交流する場を多くもち、児童の興味、関心、意欲を高められるようにする。
- ・発表会等の学習の目的を設定し、意欲を高めさせる。また達成感・成就感を得られるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・具体的な活動や体験について考えたり、工夫したり、調べたり、表現できるようにする。「もっと活動を楽しむために…」 「もっと知りたい」等、一人一人の思いや願いを抽出し、次單元への意欲を高められるようにする。
- ・自分の考えをもてるように、経験や体験を、学習カードにまとめさせ、振り返る時間を確保する。
- ・小グループでの話し合いや発表等、友達と交流することで友達の考えのよいところに気付かせる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・授業では、活動の過程を大切にし、つぶやきや発言、思いを見取る。さらに、つぶやきや発言、思いを意図的に取り上げることによって、自分や友達の考えのよさに全体が気付けるようにする。
- ・「学校のみみつをしようかいしよう」で行った学習を基に「公園のみみつをしようかいしよう」では、まとめ方や発表の仕方を工夫するとともに、公園の在り方を理解させるようにする。
- ・「楽しかったよ2年生」では、自分の成長を支えてくれた人々から話を聞くなどの交流を通して、自分が小さかった頃を見つめ、将来への具体的な思いや願いをもてるように指導する。また、これからの生活に意欲がもてるように、家庭とも連携した準備計画を行う。

